

円山観音に温泉がでた！

いわない温泉の50年と未来



「掘削半年余ついに湯脈―」

1974(昭和49)年、岩内山麓の霊場、円山観音付近で続けられていたボーリング調査。当初、想定していた深さからは、温泉は出ませんでした。

度重なる掘削の延長、延長…深さ300mの予定が700mに達し、もうあと最後の50mで終わらせようとした、その時―。

岩内第二の湯の里が誕生、あれから半世紀。「いわない温泉」発展の歴史をご紹介します。

期間:令和6年6月22日(土)～8月25日(日)

岩内町郷土館 令和6年度第二回企画展
円山観音に温泉が出た！ いわない温泉の50年と未来
ご 挨 拶

火山大国のわが国日本は、全国津々浦々に名湯秘湯あり、古くから日本人は温泉に親しんできました。温泉には、その所在する各地方の歴史や風土が豊かに反映されており、それぞれの個性と魅力が人々を癒し楽しませてくれる、まさに「温泉文化」という日本独自の宝物です。

岩内岳のふもとに位置する円山には、いわない温泉という湯の里があります。いわない温泉は、今からちょうど50年前の1974(昭和49)年に、掘削ボーリングが成功して開湯しました。それまでの岩内町民は、雷電温泉や蘭越新見温泉あたりまで、トンネルを抜け峠を越え出かけていましたが、より身近なところに質の良い温泉が掘り当てられたことで、当時の町民は大喜び。温泉観光地の開発も速やかに進み、1978(昭和53)年には北海道で初の「国民年金保養センター」の誘致にも成功しました。

半世紀となるいわない温泉の歴史には、困難も数多くありました。施設経営上の困難はもちろん、配管や泉源設備のトラブルなど、外からはあまり見えない、大小多くの課題を克服して今に至ります。そこには現場の人達の働きがあり、裏で支える人達によって、温泉は今日まで大切に維持されてきました。

いわない温泉の魅力は、岩内岳と日本海にはさまれたごく狭いエリアに、泉質の違う二種類のお湯が出ていることです。さらに源泉が適温で、沸かしたり水で薄めたり(加温加水)することなく、100%源泉掛け流しの湯船に浸かることができます。コスト面でも大きな利点があり、質の良いミネラル成分が多く含まれていて、これは他の温泉地に比しても、圧倒的に数値の高い含有量となっていることが調査、報告されています。

今年6年度は、いわない温泉の旅館、ホテルなど全施設がリニューアル工事を進めています。岩内町の泉源の保全管理のもと、官と観光協会と民間事業者が連携した「円山連携会議」も活動を活発にしており、未来へ向けて、新たな魅力を創出しています。

岩内に古くからよき山があり、よき海があり、これに由来するよき湯があるという有り難さを再発見。その始まりの歴史から現在、そして未来を思うとき、いつもあるのが当たり前、湧き出ているのが当たり前だと思っていた温泉が、あらためて特別なものに感じられるかもしれません。

最後に、今回の企画展開催にあたり多大なご協力をいただきました役場建設経済部を始め各部署の皆様、いわない温泉各施設の皆様、温泉管理事務所の皆様、渡辺謙二様に心より御礼を申し上げます。

2024(令和6)年6月22日

岩内町郷土館



たら丸にちょうどよい大きさの「魚たらい」がありました!



展示室南側パネル。昭和49～開発当初の資料



昭和53年、佐竹地下工業所による2号井の手書きの柱状図

企画展示の様子



展示室北西側。役場温泉担当部署より詳細資料もご提供いただきました。



展示室北側ガラスケース展示。いわない温泉の旅館、ホテルなどで昔作っていたパンフレットやチラシ。

円山観音山の歴史



昭和53年頃、円山観音の様子



大正4年、山頂に建立した薬師如来像と梅澤家



円山観音山薬師如来入魂 大正4年

1914（大正3）年、初代岩内町長でもあり資産家であった梅澤市太郎が、円山の土地を全修寺に寄進、補陀落山六角堂を建立し、円山三十三観音の基礎を築いた。

病がちな妻のイツとともに、町民の健康と安寧を祈り、聖観音像を建立、山頂には薬師如来像を建立した。信者は年に一度行列をなし、円山巡礼を行い、「観音さん」は古くから信仰の場として親しまれていた。

温泉第一号は、この観音山入口の西側に掘削された。現在円山には、展望台やあずまやもあり、石仏の並ぶ山道はハイキングコースとして整備されている。

岩内町の温泉



自噴温泉とポンプ揚湯温泉

朝日、雷電温泉は自然湧出または自噴温泉 いわない温泉はポンプを使った揚湯の掘削泉

江戸時代からある朝日温泉と昭和37年から開発が始まった雷電温泉は、自然に湧き出ている温泉である。発見されるのは簡単だが、深い山奥などでは開発が入りづらく、自然環境の変化に影響を受けやすい。



ボーリング調査によって発見される温泉は、専門知識による科学的な予測から発見される。設備のコストや保全など、お金がかかる。いわない温泉はすべてがこの方法でお湯が供給されている。



いわない温泉は、天水（空からの水）由来の温泉と、海水起源（化石海水）の温泉の二種類の温泉が湧出している。

1号井～3号井の開発

昭和49年9月7日付新聞報道



勢いよく噴き出す1号井



プレハブに温泉をひいた、仮設の浴場。町民が自由に入浴した。



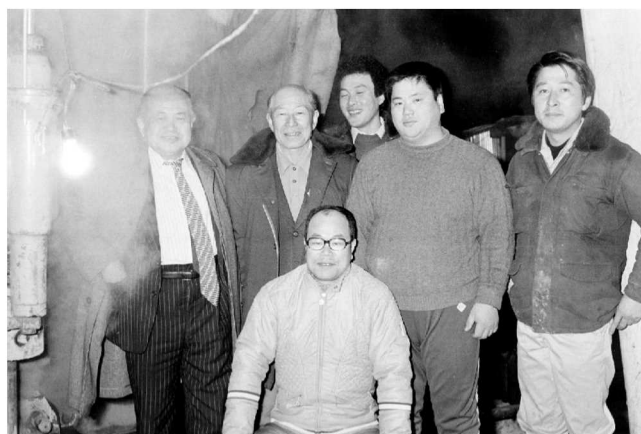
昭和53年に成功した2号井。
源泉が流れ出る様子。



昭和48年、岩内町では、神戸市より地質学専門の上月（こうづき）順治氏を招へいし、氏の調査の結果、円山観音付近に数か所の湯脈があることが分かった。町では「岩内地方振興公社（社長は長浜町長）」をたちあげ、本格的なボーリングを進める。

掘削が岩盤にぶつかったりと、困難も多くあったが、翌49年8月、待望の第1号井のボーリングが成功した。開始から半年余りが経っていた。

第2号、第3号の源泉は「国民年金保養センター」の岩内への誘致が決定後、昭和53、54年に、続けてボーリングが始まった。いずれも成功し、複数の温泉施設に供給できるほどの湯量も確保された。



昭和54年、3号井掘削成功。写真左端は、当時の奈良敬三岩内町長。その右隣が、2号井、3号井の開発を手掛けた「佐竹地下工業所」の佐竹社長。右端が佐竹社長の息子。二世代で、いわない温泉の管理を担った。



次々と開け行く円山の観光開発～5号井・6号井掘削～



昭和51年頃。町を一望する円山で年金センター建設が始まる。



昭和53年開業。岩内町いこいの家の内風呂。

年金保養センターのパンフレット。後年「グリーンパークいわない」と名称変更、大規模改修で露天風呂も完成した。

岩内町いこいの家

岩内町

〒045 岩内郡岩内町字野東500番地
☎(01356) ② 6250

岩内町いこいの家利用料表

区 分	湯 治 利 用 料			日 帰 り 利 用 料		
	湯 治 料	入 湯 税	計	入 湯 料	入 湯 税	計
65才以上の者	1,000	150	1,150	100	100	200
小 学 生	1,000	—	1,000	100	—	100
中 学 生	1,000	150	1,150	100	100	200
その他の者	1,750	150	1,900	200	100	300

利用時間 1日 (24時間)
利用時間 午前9時～午後8時まで
備 考 料 1室 500円
1室あたり1単位3時間とする

- 暖房料は11月1日から翌年4月30日までの間、湯治利用の場合は1人1日あたり200円、日帰り利用の場合個室1室あたり300円を徴収する。
- 小学生（年齢12才未満の者）の入湯税は徴収しない。
- 寝具料は、1組1日あたり400円を徴収する。
- 小学校入学期の者は無料とする。

⑤交通について
バ ス…中央バス1日4往復（駅から10分）料金90円
ハイヤー…駅から約5分 料金約800円（4人乗り）

045 岩内郡岩内町字野東500番地
岩内町いこいの家
☎ ② 6250

岩内町いこいの家のパンフレット。当時の入浴料は300円。

1976（昭和51）年、新しい温泉開発の進む岩内に、北海道で初めての「国民年金保養センター」が誘致されることとなった。

1978（昭和53）年「いわない温泉国民年金保養センターいわない」開業。総工費は約3.4億円で、日本海を見下ろす絶好のロケーションと、泉質の良さが好評となった。また同年、町営の温泉施設「岩内町いこいの家」が完成、開業した。二つの施設のオープンにともない、湯量の安定供給を目指し1983（昭和58）年までの間に、5号井、6号井の掘削が行われた（4号はない）。

同53年、岩内勤労者体育センターも竣工。現在は使われていない。

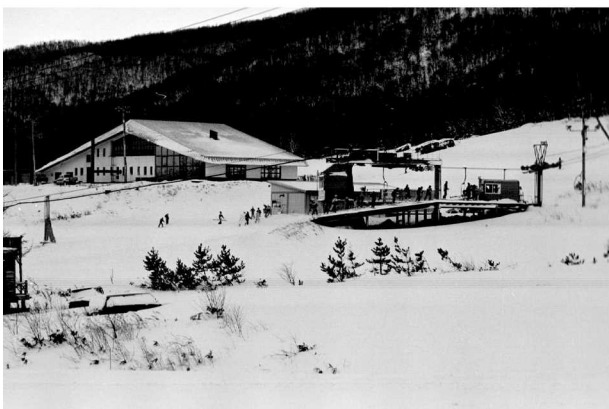




写真右手が日本海（北側）。港のある市街地から、車で二十分弱の近郊にいわない温泉があり、円山展望台を中心に環状に道道が走っている。（2011年撮影）



旧JR岩内駅前の年金センター行きバス停と、円山循環道路の中央バス。いずれも昭和53年撮影



昭和55年にオープンしたニセコいわない国際スキー場。

1980（昭和55）年、岩内岳にレストハウスヒュッテと3基のリフトを擁した「ニセコいわない国際スキー場」が誕生。温泉施設とスキー場を経由する、円山循環道路が着工し、82年に開通した。
また中央バスは、岩内駅からいわない温泉「年金センター」行きのバス路線の運行を始め、温泉客の交通はより便利になった。

円山開発記念の碑・いわない温泉ボーリング・期待をかけるスケソ漁

(2)

岩内岳・円山開発記念の碑除幕される

岩内岳・円山開発記念の碑が、岩内町と青森町の両町民の手で、除幕された。この記念碑は、円山開発の歴史を伝えるとともに、両町の友好関係を象徴するものとして、除幕された。除幕式には、両町の町長、町議会議員、関係者など約100人が参加した。除幕後、記念碑の前で両町民の交流が行われた。

▲開発記念の碑の除幕をする
委員長と青森町議会議員と
農田さん

いわない温泉6号井掘削さく始まる

いわない温泉の6号井掘削工事が、10月1日より始まる。この井は、温泉の増産と、観光客の利便性を高めるため、掘削される。掘削は、約100メートルの深さまで行われる。掘削中は、温泉の温度や流量が監視される。掘削完了後、温泉の増産が期待される。

期待をかけるスケソ漁

岩内町のスケソ漁が、10月1日より始まる。この漁は、岩内町の伝統的な漁業で、観光客の注目を集める。漁は、約100メートルの深さまで行われる。漁中は、スケソの温度や流量が監視される。漁完了後、スケソの増産が期待される。

手を組んで 船団組んで 安全操業

1981（昭和56）年10月「広報いわない」より。円山展望台と記念碑が設置される。また、新たに6号井掘削も始まる。

温泉を汲み上げるしくみ～水中揚湯ポンプ～



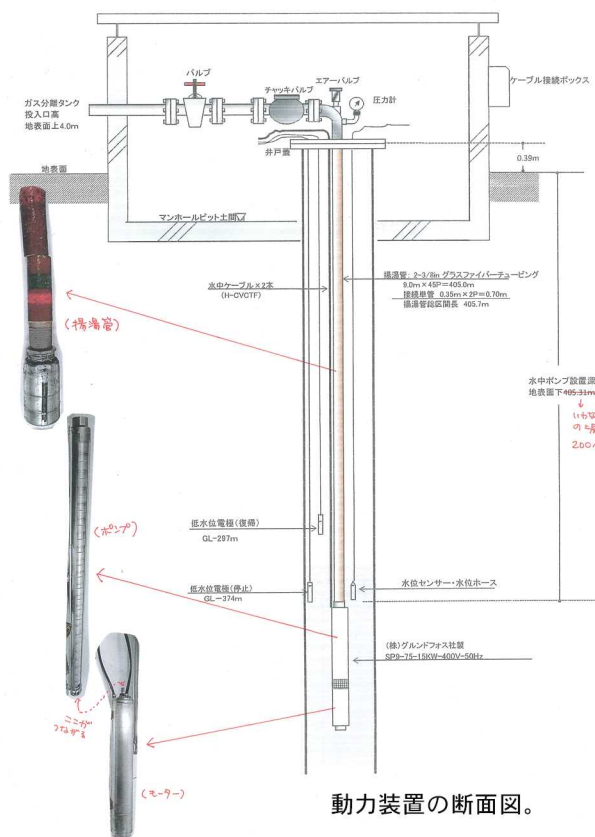
グラスファイバー製の揚湯管。9mを22本つなぎ、198mになる。



モーターから伸びる水中電線ケーブル。200mが2本。



水中ポンプ。同じ形状の部品が21個つながっている。底の方にモーターが接続され、ポンプ本体に沿って電気ケーブルが地上へ伸びている。写真は分解した状態。

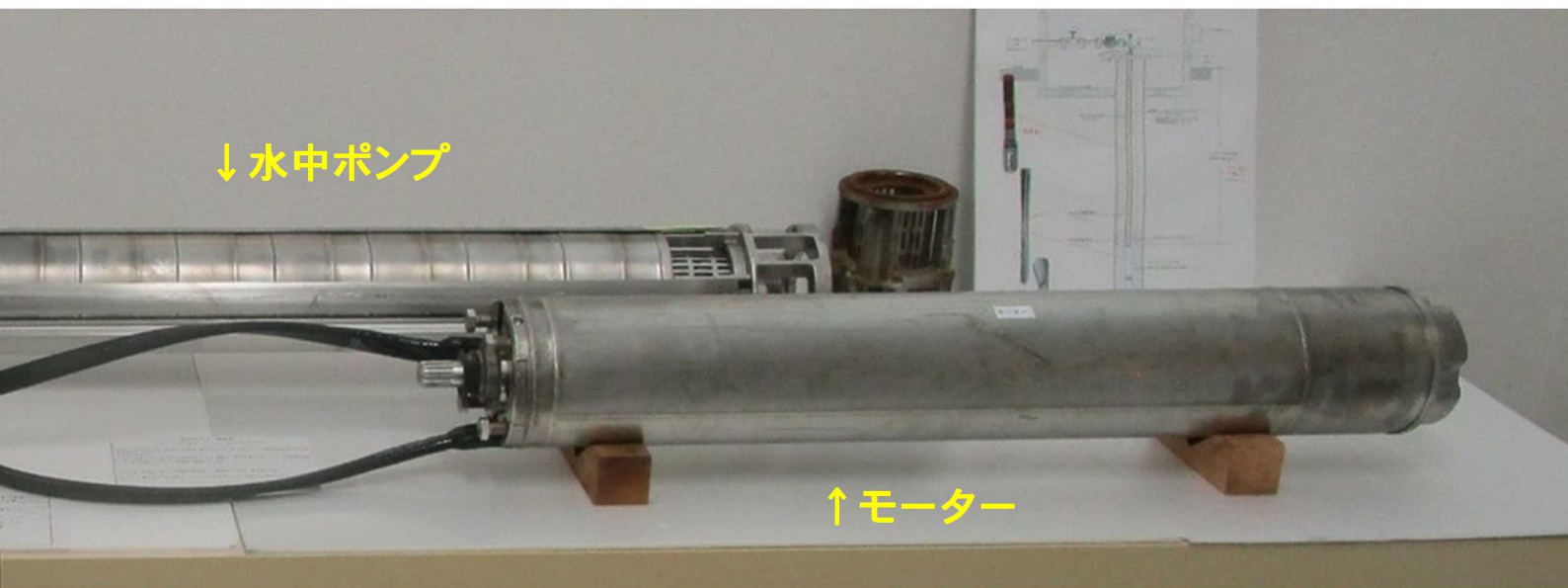


動力装置の断面図。



モーターとの接続部分。

温泉の汲み上げは、デンマークのメーカーグルンドフォス社製の水中ポンプが使われている。いわぬ温泉では、地表面下約200mに温泉水位が上がる。ここから、最大で毎分300リットルの温泉をくみ上げている（各源泉ごと、また季節等により変化あり）。モーターは重さ約150kg、ポンプは約70kgとなる。



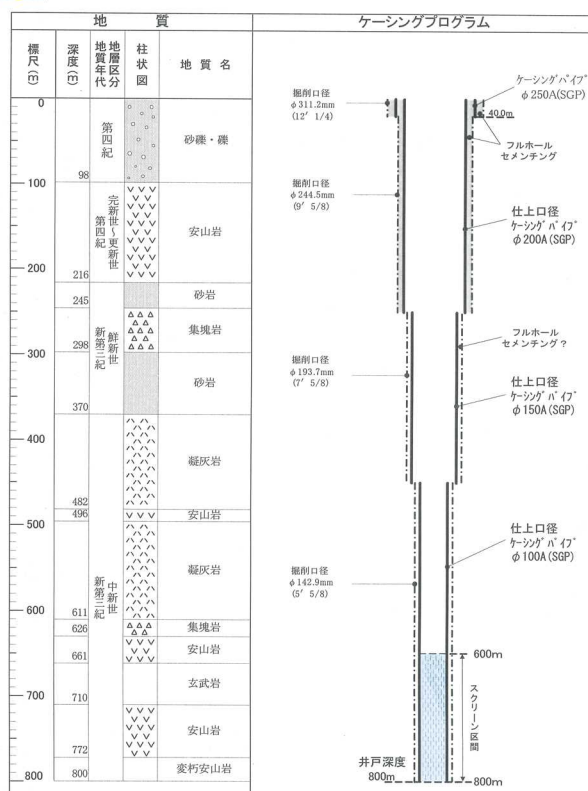
いわない温泉 各源泉の位置と深度

いわない温泉の源泉は、700～1500mの深さに掘られた井戸が7か所あり、2024年現在、5号、7号、9号が稼働中で、その他が休止となっている（1号は廃止、4号は欠番）。海拔約150mほどの位置にあり、掘削は海水面を超え、はるかに深く掘られているのが分かる。

源泉が新たに掘削されると、「柱状図（ケーシングプログラム）」が作られ、地表面から掘った深さごとの地質、温度、口径など詳細なデータが記録される。



温泉水中ポンプの設置（引揚）作業。



源泉の柱状図（ケーシングプログラム）



いわない温泉の泉源位置図と各旅館・ホテル



左の写真は1974（昭和53）年、2号井での揚湯試験の様子。

いわない温泉は、加温や加水なく源泉100%かけ流しの温泉である（季節やその年ごとの自然環境により、多少の変化はみられる）。

最新では、2021年に東京大学教養学部による泉質調査が行われた。それによると、健康・美容に効能のあるミネラル成分が、豊富に含まれているという調査結果が出た。

ナトリウム塩化物泉とナトリウム炭酸水素塩泉の二種類の温泉が、申し分のない湯量で出ており、いわない温泉が自然条件的にも、いかに恵まれた温泉であるかということが、科学的に証明されている。



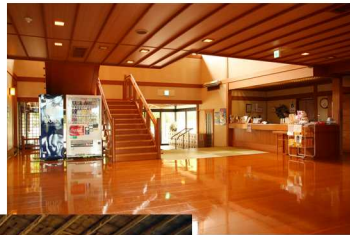
高島旅館…1999（平11）年開業。島牧村より移転。人気のアウビを中心とした海鮮料理と、質の高いサービスに定評。全国にファン、リピーターも多い。毎年正月一日の予約受付で、一年の予約が埋まってしまうほど。



いわない高原ホテル…1982（昭57）年開業。日本一の収蔵数を誇るピカソ版画の美術館がある。また敷地内にイワナブルワリーを開業、本格クラフトビールと芸術文化を地域から発信している。



おかえりなさい…高級旅館旧「聖観湯」として開業。のち、高島旅館別館となり、2014（平26）年独立開業。数寄屋造りの、純和風建築でありながら、カジュアルで幅広い層に人気がある。



2024年6月25日付北海道新聞。高原ホテル露天風呂に、岩内高校美術部が壁画を制作。



サンサンの湯…50年前に開業した「いこいの家」と変わらぬ雰囲気でも営業している。良質なミネラルがバランスよく含まれた源泉が、湯量豊富に流れ出ている。湯音は常時42～47度Cで、筋金入りの「あつ湯」が自慢。



円山連携会議～岩内町と民間事業者の連携～

2018(平成30)年1月、岩内町では、温泉の施設管理を「観光担当」に移管し一元管理することとなった。同年9月、円山エリアのホテル旅館事業者と、岩内町、観光協会が集結し、観光振興のための情報共有と連携強化、意見交換を活性化する場として「円山連携会議」を設置。「いわない温泉」の統一名称をブランド化し、「日本夜景遺産」認定にともなう事業、「宿花火」などの大規模イベント等、官民一体となり取り組んでいる。

昨年、全国の温泉地の人気投票「国民が選んだ温泉地ランキング 温泉総選挙2023」では、いわない温泉が総務大臣賞を受賞した。



2022年「いわない温泉」ブランド誕生を機に実施した「ぜったい、いわない」キャンペーン。温泉スタッフや役場職員がPRに総出。



8.10 WED 20:30～ IWANAI RESORT 宿の日・岩内町
2022年に始まった8月10日「宿の日」の宿花火。



円山連携会議「会議録」より



温泉総選挙2023で総務大臣賞を受賞。



いわない温泉イメージポスター。
イラストは岩内高校卒業生

天水由来と海水起源、
高温かけ流しの二つの温泉。

いわない温泉の保全管理～管理用ピット～

昭和53～54年に掘削したいわない温泉の2号井、3号井は、ナトリウムなどの含有成分がとて多く、配管にスケール（湯の花）が大量に付着し、度々温泉の供給を止めてしまうような事態となった。

町の担当者は、配管を掃除するための土中のピットを独自に考案した。この設備を源泉井戸と、各旅館、ホテルの間にある配管に、もっとも多い時で、3ルート21カ所設置した。現在は14カ所で、年に2回の清掃を行うことで、安定的に温泉が供給されるようになっている。

この岩内オリジナルの「管理用ピット」は当時画期的なもので、全国の温泉地からも視察が来るという。

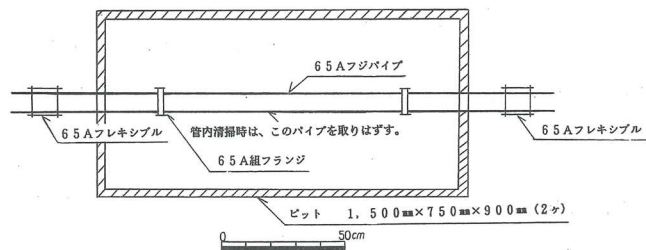
昭和53年頃。ポンプの吸上げ部分に温泉スケールが付着。当初はトラブルがひんぱんに発生していた。



ピット内での作業の様子



管理用ピット 平面図



・管理用ピット設置内容等

①設置カ所 約140mに1カ所の割合で下記の3ルート上に合計21カ所のピットを設置した。ピットの詳細は図-6のとおり。

ア) 管理棟～2号井ルート	(700m)	6カ所
イ) 管理棟～年金センタールート	(180m)	2カ所
ウ) 管理棟～特養ルート	(1,800m)	13カ所
計 3ルート	2,680m	21カ所

②高圧洗浄機	圧力	150kg/cm ²
	水量	17ℓ/分
	エンジン	8PS
	給水方法	自吸式
	寸法	970mm×712mm×680mm
	重量	130kg

管理用ピット 配置図



郷土館歴史講座「いわない温泉のお話」

講師 渡辺 謙二 氏
(元岩内町役場 温泉担当)

2024(令和6)年7月28日 13:30～ 岩内町郷土館企画室

この日は三十名近くの参加者が集まり、温泉の基本的な知識と、いわない温泉の歴史を学びました。

お話の中で渡辺氏は、昭和50年代に「配管清掃用ピット」を考案した渡辺氏の先輩、同役場職員であった天野氏について紹介されました。天野氏は、温泉スケールの詰まる配管を掃除、改善するため、研究を重ねみずから重機を操っていたそうです。

また、一つの自治体が温泉を維持管理しているのは、全国的にも稀である事、民間事業者と岩内町が連携し、新しい取り組みを次々に行っていることは、他に例のない素晴らしいことだとお話されていました。



その他の温泉関連展示



9号井掘削時に採取された土の標本。



雷電・朝日温泉など今はなき温泉の資料。



1980年年代のスキー場や観光のパンフレット。



旧温泉998(神恵内村)から採取された温泉スケールの塊り。高さ約20cm。半年ほどで、これほどのスケールが溜まっていた。



「ウィークデーテニスプラン」80年代のいわない高原ホテルのチラシ。



源泉を空気に触れさせずに密閉保管したサンプル。

いわない温泉と円山開発の歴史 年表

年	岩内地方の温泉およびいわない温泉と円山	備 考
1844（弘化元）	○雷電山中に朝日温泉の記録有（岩内地方最古の温泉の記録）	
1914（大正 3）	○岩内の梅澤市太郎夫人、梅澤イツ寄進により「補陀落山円山観音」が開基。観音堂と山頂には薬師如来像が建立され、山道には三十体余りの石仏が安置される	
1945（昭和 20）		8 月 15 日終戦
1954（昭和 29）		○岩内大火
1962（昭和 37）	○円山観音本堂東側にスキー場ヒュッテが完成 ○雷電温泉ボーリング成功、雷電温泉開発が始まる	○雷電道路開通 ○映画飢餓海峡に朝日温泉が登場
1968（昭和 43）	○円山観音の本堂を休憩室として、「ヘルスセンター観音湯」が開業。町の有志が浴場施設を経営した	
1974（昭和 49）	○岩内円山観音付近で温泉ボーリング成功。（1 号井）	
1975（昭和 50）		○人口 25,823 人（国調人口ピーク）
1976（昭和 51）	○北海道初の国民年金保養センター、岩内に誘致決定	
1978（昭和 53）	○5 月「国民年金保養センターいわない温泉」開業 ○10 月「岩内町いこいの家」開業 ○勤労者体育センター落成 ○2 号井掘削成功	
1979（昭和 54）	○3 号井掘削成功	
1980（昭和 55）	○岩内岳に「ニセコいわない国際スキー場」オープン。円山循環道路着工。 ○5 号井の温泉ボーリング工事起工。（4 号は無し）	
1981（昭和 56）	○円山山頂に展望台完成。「岩内岳円山開発記念碑」設置	
1982（昭和 57）	○「いわない高原ホテル」開業（東文堂経営者荒井利三氏） ○円山循環道路開通。○円山山麓に「あけぼの学園」開園	
1983（昭和 58）	○6 号井掘削	
1985（昭和 60）		○国鉄岩内線廃止
1987（昭和 62）	○山麓西側に「岩内森林公園」が完成	
1989（平成 1）	○いわない高原ホテル敷地内にピカソ版画を多数収蔵する「荒井記念美術館」開館 ○ニセコウエストバレー国際スキー場リニューアルオープン	○はまなす国体岩内開催
1990（平成 2）	○いわない高原ホテル改築 ○聖観音像円山に建立（補陀落山作務の会）	
1992（平成 4）	○「グリーンパークいわない」新装オープン ○荒井記念美術館 2 号館落成	
1993（平成 5）	○「聖観湯」開業（上野組）	○北海道南西沖地震
1996（平成 8）	○7 号井掘削	
1997（平成 9）	○岩内リゾートパーク造成はじまる。センターハウス完成	
1999（平成 11）	○「高島旅館」開業 ○オートキャンプ場「マリンビュー」開業	
2000（平成 12）	○「円山パークゴルフ場」開業	
2002（平成 14）	○ニセコいわない国際スキー場が岩内町地域振興協会の運営となる	
2003（平成 15）	○「荒井記念美術館 2 号館」開業 ○グリーンパークいわないで露天風呂完成	
2004（平成 16）	○旧観音寺本堂が解体、新築される	
2007（平成 19）	○グリーンパークいわないといこいの家が民営化、北海道軽金属(株)の経営となる。 いこいの家はのちに「さんさんの湯」と名称変更	
2008（平成 20）	○「聖観湯」閉館	
2009（平成 21）	○円山地区、新しい泉源の探掘工事、27 年ぶりの泉源更新が行われる（8 号井）	
2010（平成 22）	○荒井記念美術館が北海道地域文化選奨特別賞受賞 ○円山ヒーリングファーム（ダチョウ農園）開園	
2011（平成 23）	○旧聖観湯施設が「高島旅館別館おかえりなさい」として開業	○東日本大震災
2012（平成 24）	○9 月末 さんさんの湯が老朽化を理由に閉館。10 月「サンサンの湯」として再開	
2013（平成 25）	○「ホーストラスト北海道」開業	
2014（平成 26）	○高島別館が「いわない温泉おかえりなさい」として独立開業	
2015（平成 27）	○9 号井掘削	
2017（平成 29）	○ユキカムイがニセコいわない国際スキー場を取得。「IWANAI RESORT」オープン	
2018（平成 30）	○官民連携の「円山連携会議」が発足	
2019（令和 1）	○雷電温泉最後の施設「三浦屋旅館」が休業。	○2020 年コロナ禍
2021（令和 3）	○グリーンパークいわない閉館	
2022（令和 4）	○2 月 高島旅館「ホテルカルチャーヴィレッジ泊」をオープン ○7 月 いわない高原ホテルが「イワナイブルワリー&ホテル」開業 ○8 月「宿花火」イワナイリゾートから花火 7,000 発を打ち上げる ○ユキカムイが旧グリーンパークいわないを取得	
2023（令和 5）	○「温泉総選挙 2023」でいわない温泉が総務大臣賞を受賞	



この度の企画展開催に際しご協力を頂いた皆様に心より感謝申し上げます(敬称略)

岩内町役場	温泉管理事務所
高島旅館	おかえりなさい
いわない高原ホテル	サンサンの湯
Yuki Kamui株式会社	

高野 紀康
渡辺 謙二

2024(令和6)年度
岩内町郷土館 第二回企画展
円山観音に温泉が出た！ いわない温泉の50年と未来

2024年8月31日発行

編集/発行 岩内町郷土館(ぱとりあ岩内)
岩内町清住5-3
TEL 0135(62)8020